

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)



受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-128	小学校	生活	生活	第1, 2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	生活 113 生活 114	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下		

1

編修の基本方針

子どもたちの 学びをつなぐ 未来をひらく

～ 心豊かに、たくましく、新しい時代を生き抜く力を育てるために ～

これからの新しい時代を生きる子どもたちの自立と共生に向けて、必要な資質・能力を育むと共に、他者への共感や優しさ、思いやりなど豊かな人間性を育むため、身近な人々、社会や自然と繰り返し関わる体験や活動を大切にしました。

また、子どもが自分のよさや可能性に気付き、生涯にわたって学び続ける力を育成できるよう、次のような編修方針を立てました。



目指す子ども像

夢中になる子ども

思いや願いを強くもち、夢中になって学びに向かう子ども

学びを創る子ども

他者と協力して、主体的に学びを創り出す子ども

共に生きる子ども

人や自然と関わりながら、自分の生活をより豊かにしようとする子ども

① 読んで、見て、わかる教科書です。

- (1) わくわく…子どもの意欲を喚起し、思いや願いを高める工夫をしています。
- (2) いきいき…直接体験を大切に、主体的・対話的で深い学びが実現できます。
- (3) ぐんぐん…伝え合い交流し、ふり返り表現する場面が充実しています。

② 子どもの思いや願いを大切にした教科書です。

- (1) 単元は、子どもたちの日常生活から始まります。
- (2) 活動・気付きが繰り返し深まることを大切にしています。
- (3) 子ども自身が成長や学ぶ楽しさを実感できます。

③ 学びの「つながり」と「広がり」が見える教科書です。

- (1) 幼児期の学びや育ちを大切にしたスタートカリキュラムが充実しています。
- (2) 合科的・関連的な指導や上位学年へのつながりに配慮しています。
- (3) 家庭や地域との連携に配慮しています。

① 読んで、見て、わかる教科書です。

わくわく→いきいき→ぐんぐんの3段階構成は、生活科の学びのプロセスを考慮して活動の流れを分かりやすく示しています。活動の流れを明確化することで、多様な子どもにも分かりやすい構成となっています。また、教師や保護者の方、身近な大人にも生活科の構成やねらいが見えることで、子どもの主体的な活動の支援につながるようになっています。

(1) わくわく…子どもの意欲を喚起し、思いや願いを高める工夫をしています。



わくわく(単元の導入)は、「単元扉」と「わくわくボックス」の4ページを使い、子どもたちの意欲を喚起し、今後の活動の見通しをもたせることができますようにしています。

単元扉は、子どもの心を惹き付けるダイナミックな写真と、子どもの日常生活から単元が始まる挿絵で構成しています。



思いや願いをさらに高める「わくわくボックス」

わくわくボックスには、「なぜだろう?」、「ふしぎだな」、「楽しそう!」と子どもの心を揺さぶり、「やってみよう」、「～したい」という思いや願いを高める学習活動を設けています。思いや願いと活動との出会いがうまくいくと、子どもが自ら動き出す意欲的な取組が生まれます。

(2) いきいき…直接体験を大切に、主体的・対話的で深い学びが実現できます。



いきいき(主な活動)では、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動を大切にしています。繰り返し人や自然と関わったり、失敗しても何度も試行錯誤したりする姿を挿絵やカードで例示しています。

「見付ける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」などの多様な学習活動の例示で、気付きの質を高める手立てを丁寧に扱っています。

(3) ぐんぐん…伝え合い交流し、ふり返り表現する場面が充実しています。



ぐんぐん(交流活動)では、他教科等との関連を図りながら、言葉・絵・動作・劇化などで表現自体を楽しんだり、デジタルカメラやタブレット端末などのICTを活用したりする、多様な表現活動を例示しています。

単元末のふり返りで、自らの成長や学びの深まり、学ぶ楽しさを実感することで、学習したことを次の学習や生活へ生かそうとする意欲を育てます。

上p.2-17

② 子どもの思いや願いを大切にした教科書です。

(1) 単元は、子どもたちの日常生活から始まります。

校庭で見付けたどんぐり、登校途中で見付けた昆虫、地域で出会った農家の方など、生活科の学びのきっかけは、日々様々です。本書では、「これはなにかな?」、「やってみたいな」という子どものつぶやきや、幼児期までの育ち・これまでの学習での経験を大切に、日常生活から単元が始まるようにしました。



上p.72-73

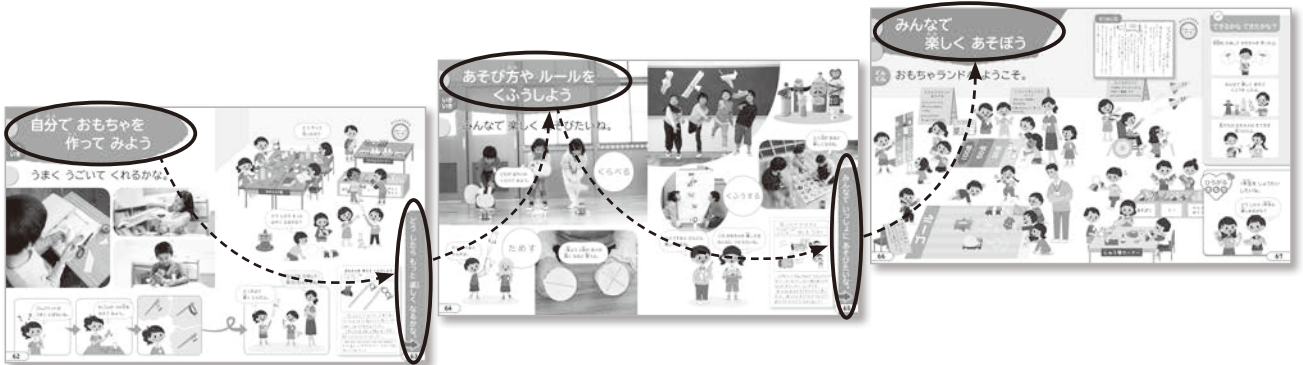
子どもの経験や体験を大切にしながら、活動を引き出す発問の例示

日常生活から単元が始まる様子の例示



(2) 活動・気づきが繰り返し深まることを大切にしています。

子どもの活動は「やって終わり」ではありません。活動の中で生まれた“気づき”や「もっとこうしたい」などの“思いや願い”が次の活動につながるように、単元のストーリーを大切にしました。

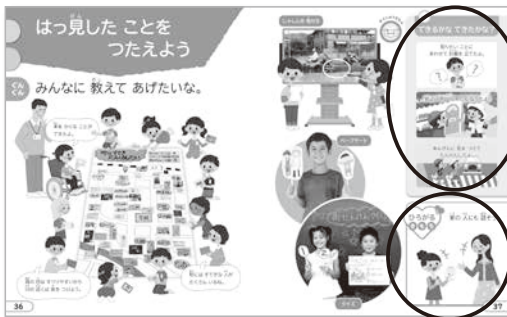


下p.62-67

「自分でおもちゃを作ってみよう」→「どうしたらもっと楽しくなるかな。」→「あそび方やルールをくふうしよう」→「みんなでいっしょにあそびたいな。」→「みんなで楽しくあそぼう」

(3) 子ども自身が成長や学ぶ楽しさを実感できます。

交流活動(ぐんぐん)の場面では、体験で得られた気づきを自分なりに表現し、他者と交流することで、気づきの質を高められるように配慮しました。得られた気づきが価値ある物として意味付けられ、自らの成長や学ぶ楽しさを実感することで、**学習したことを次の学習や生活へ生かそうとする意欲**を育てます。



下p.36-37

できるかな できたかな?

活動をふり返る自己評価の視点の例を子どもの発達段階を踏まえて、上巻では2つ、下巻では3つ設定しています。

ひろがるきもち

単元の学習が終わった後も、子どもが自ら自立し生活を豊かにしようとする姿を示しています。

③ 学びの「つながり」と「広がり」が見える教科書です。

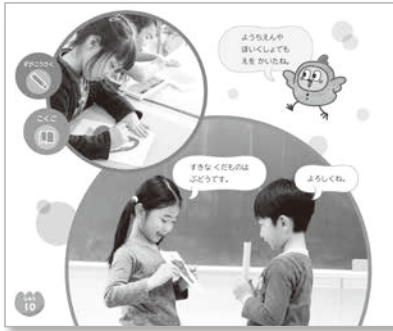
(1) 幼児期の学びや育ちを大切にしたスタートカリキュラムが充実しています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、一人一人の子どもが自信をもって自己を発揮し、安心して学校生活を始められるように、上巻の巻頭に「すたあとぶっく『がっこうだいすき あいうえお』」の単元を設定し、スタートカリキュラムへの手がかりを丁寧に示しました。

- 期待に胸を膨らませている子ども、少し緊張した子ども、不安で今にも泣き出しそうな子どもなど、様々な1年生に寄り添いながら、子どもたちの人間関係が豊かに広がるように学習活動を設定しています。
- 幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における学習に円滑に移行できるよう、**幼児期に親しんだ遊びや歌**を取り入れた活動や、生活科を中心とした**合科的・関連的な学習活動**の例示が充実しています。



上p.(小寸8-9)



上p.(小寸10)

単元内の「あ・い・う・え・お」のそれぞれの紙面では、子どもの意識の流れに沿った学習活動を大切に、ゆったりとした時間の中で、友達や先生と関わったり、思いや願いを実現する過程で生活上必要な習慣や技能が身についたりするように配慮しています。

紙面にあるQRコードをタブレット端末やスマートフォンなどのアプリで読み取ると、インターネット経由で、幼児期に親しんだ手遊びや歌の動画を見ることができます。



(2) 合科的・関連的な指導や上位学年へのつながりに配慮しています。

- カリキュラムマネジメントの視点から、国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科などの各教科の学習で育成を目指す資質・能力との関連を考慮し、学習活動の充実を図るように工夫しました。
- 中学年以降の理科や社会科、総合的な学習の時間などにつながる学習活動を設けています。

3年生へのステップブック「みらいにむかって」（下巻巻末）

1・2年生の生活科で身につけた力や自分を支えている存在について自覚できると共に、意欲と自信をもって進級することができるように工夫しています。



下巻巻末

(3) 家庭や地域との連携に配慮しています。

家庭との連携 家庭との連携が重要な内容には、保護者の方へのメッセージを記載しており、学校教育への理解や、家庭との連携が深まるように配慮しています。また、「すたあとぶっく」の単元冒頭の保護者へのメッセージでは、スタートカリキュラムの意義や期待する子どもの姿を示すことで、保護者の方の安心感や信頼感につながるようにしています。

地域社会との連携 地域社会との連携に配慮し、地域の方と関わる活動や学校での出来事を通して、自分の住む町が好きになり、子どもが地域の一員として生活をよりよくしようとする姿勢を示しています。

2 対照表

教育基本法第2条	教科書上、特に意を用いた点や特色	箇所
第1号	▶規則正しい生活を示すことで、健康な心身を養えるように配慮しています。	上 p.56-57, 88-89, 95, 129
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	▶相手や状況に応じて適切な接し方をするなど、豊かな情操と道徳心を養えるように配慮しています。	上 p.36-37, 43, 85, 115 下 p.7, 34-35, 38-41, 78-79, 111
	▶自然や生き物と接したり、おもちゃを作ったりする中で、その不思議さや違い、性質に気付くことができるように配慮しています。	上 p.20-33, 44-55, 58-69, 79, 82-83 など 下 p.42-55, 58-67など
	▶家族の中での自分の役割を見出し、自分の役割を積極的に果たせるように配慮しています。	上 p.86-93
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	▶保護者に出来事を伝え合うことや、自分の成長に気付く活動では、互いによいところを教え合うなど、個人の価値を高めるように配慮しています。	上 p.(小寸15), 17, 112-113など 下 p.37, 98-107など
	▶地域の人々が、私たちの生活を支えてくれていることに気付き、感謝の念をもつことができるように配慮しています。	上 p.14-15 下 p.26-42, 72-83, 84-85, 86-95など
	▶一人で遊んでいる子に声をかけたり、他人に迷惑をかけないようにしたりするなど配慮しました。	上 p.(小寸8), 7, 36-39, 78-79など 下 p.8-9, 31, 39
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	▶出来事をふり返ったり、他者からの感謝を受けたりして、自身の成長に気付く紙面では、ほめたり、共感したりするなど、お互いを認め合うように配慮しています。	上 p.16-17, 32-33, 92-93など 下 p.98-107
	▶男女の役割を固定化せず、各々が思いをもって活動に取り組めるように配慮しています。	全体
	▶地域社会の公共物・公共施設に目を向け、正しく安全に、大切に利用できるように配慮しています。	上 p.36-39, 78-79 下 p.26-42, 72-83, 84-85, 86-95など
	▶上下巻それぞれにおいて栽培活動を扱っており、命のつながりを実感できるように配慮しています。	上 p.20-33 下 p.12-25
生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	▶上下巻それぞれにおいて飼育活動を扱っており、命の尊さや、生育環境に目を向けるなど、命と適切に関わるように配慮しています。	上 p.58-71 下 p.42-55
	▶野原遊びや生き物探しにおいては、環境の保全や外来生物などへの配慮をしています。	上 p.36-39, 58-71, 78-79など 下 p.42-55
	▶地域の伝承遊びや行事、栽培では地域の特産物に目を向けるなど、地域や我が国の伝統を愛することができるように配慮しています。	上 p.96-97 下 p.10-11, 15, 56-57, 70-71, 96-97 など
第5号	▶他国の人との関わりや遊びを示したり、外国人のクラスメイトを設定したりすることで、仲よく関わり合うことができるように配慮しています。	全体
伝統と文化を尊重し、それらははぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。		

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ユニバーサルデザインや特別支援教育などへの配慮

色覚特性への配慮、色弱児童への対応として、色覚の個人差を問わず紙面の内容が判別できるように工夫しています。また、ユニバーサルフォントの使用により、全ての子どもの学びやすさを大切にしています。

指導書の充実

教科書をより効果的に活用いただくための冊子（朱註冊子、解説冊子ほか）とデータを用意いたします。

学習者用デジタル教科書の発刊

紙の教科書と同一内容で、文字サイズや背景色等を変更し、弱視の子どもにも読みやすい学習者用デジタル教科書を発刊します。また、全ての文字にふりがなを付す機能も搭載し、漢字が苦手な子どもへの支援も行います。文章の読み上げも可能です。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-128	小学校	生活	生活	第1, 2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	生活 113 114	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下		

1

編修上特に意を用いた点や特色

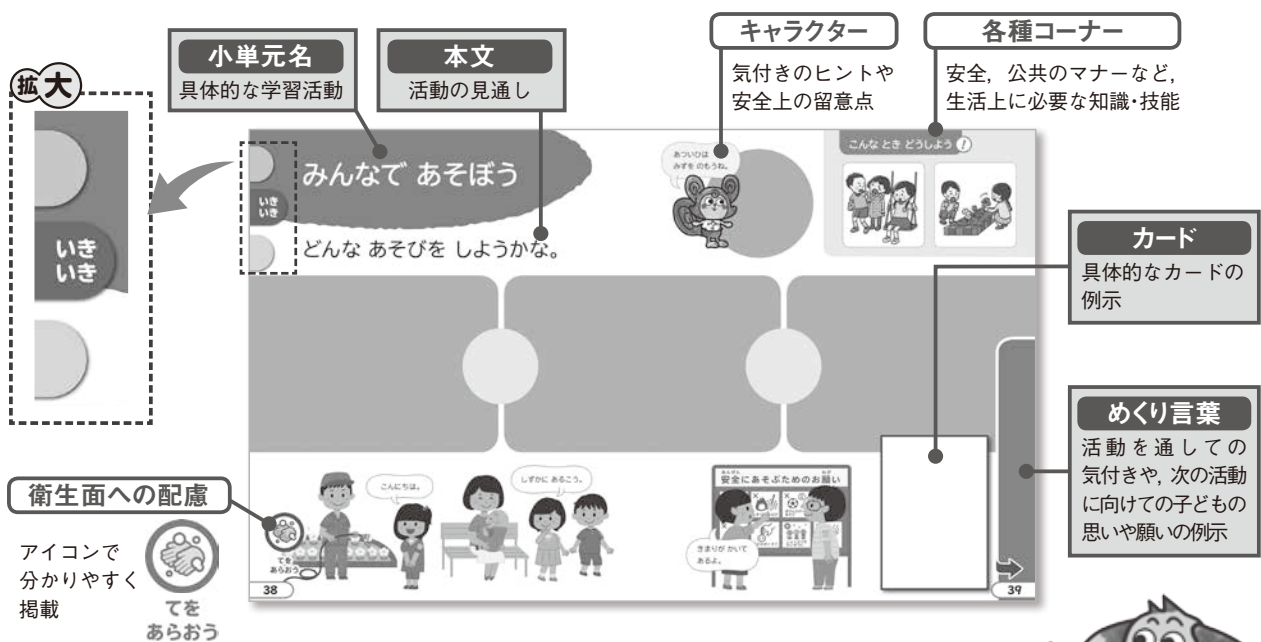


子どもの学びやすさ, 教師の指導のしやすさを大切にした紙面

生活科では, 具体的な活動や体験を通じて, 気付いたり, 考えたり, 判断したり, 感じたりすることが重要です。本教科書では, 子どもたちが, 身近な人々, 社会及び自然と繰り返し関わったり, 何度も試行錯誤したりしながら, 気付きを深めていく様子を大切にしたストーリーを展開しています。

主体的・対話的で深い学びにつながる「わくわく」・「いきいき」・「ぐんぐん」の3段階構成で, 充実した活動と確かな学びが実現できるように編修しています。

基本的な紙面構成



- 充実した活動は, 子どもの「もっと～したい」という次の活動への意欲をかき立てます。本書では, 子どもの思いや願いを大切に, 活動の連続性や広がりをサポートし, スパイラルに深い学びを実現できるよう, 右下の「めぐり言葉」で次の活動への思いや願いの例を示しています。
- 「見付ける」, 「比べる」, 「たとえる」, 「試す」, 「見通す」, 「工夫する」など多様な学習活動を重視した単元の展開にしています。



※ユニバーサルデザイン・多様な子どもへの配慮から, 各紙面内の構成要素の位置は, 原則として固定しています。

2

気付きの質を高める手立てが分かる工夫

指導経験の浅い先生でも指導しやすいように、本教科書では、子どもの経験や体験から活動を引き出したり、子どもの思考を深めたり、学習を方向付けたりする教師の支援の例を豊富に掲載しています。また、子どもの気づきを共有化・可視化するための、板書、付箋、ICTを活用する学習活動を豊富に例示しています。

教科書内の教師の言葉かけ例

- ♥「ようちえんや ほいくしょでは どんな あそびをしたかな？」上 p.45 (引き出す)
- ♥「どんな せわが ひつようかな？」上 p.62 (問いを生む)
- ♥「なんども ためして 気づいたんですね。」下 p.63 (価値付ける)
- ♥「こんどは 自分たちで 計画できそうですね。」下 p.76 (促す)

など



Up.92

3

幼児教育からの接続と
中学年以降の教科等への接続を丁寧に

上巻の巻頭の「すたあとぶっく『がっこうだいすき あいうえお』」の単位では、幼児期に育まれた資質・能力を発揮しながら、楽しく安心して学校生活をはじめることができるように工夫しています。

下巻の巻末の「3年生へのステップブック『みらいにむかって』」の資料単位では、生活科で身につけた力や自分を支えている存在について自覚すると共に、意欲と自信をもって進級することができるように工夫しています。



上巻巻頭



下巻巻末

4

ICTの活用

紙面にQRコードを掲載し、学習内容と関連する参考情報をタブレット端末やスマートフォンなどで閲覧できるようにしています。学習意欲を高め、家庭で主体的に学習する際にも、参考になるようにしています。



Up.34-35

5

道徳教育の充実

言葉遣いや態度、マナーなど人と適切に関わることや、動植物への思いやり、地域への愛着など、道徳科の学習に関連する学習活動が充実しています。他者との関わりの中における敬愛の心の育成を大切に、道徳科と生活科の学習が相互に高められるように工夫しています。



下p.84-85(わたしの町)

◆観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法及び学習指導要領の遵守	▶教育基本法及び学習指導要領に示された目標を達成するため、特に次の3つを重視して編修しました。 (1) 読んで、見て、わかる教科書 (2) 子どもの思いや願いを大切にした教科書 (3) 学びの「つながり」と「広がり」が見える教科書	全体
主体的・対話的で深い学び	▶導入「わくわく」、展開「いきいき」、終末「ぐんぐん」の3段階で構成し、主体的・対話的で深い学びの実現ができるように工夫しています。	全体
	▶紙面右下の『めくり言葉』で「活動を通しての気付き」や「次の活動に向けての思いや願い」を示すことで、 子どもの活動の連続性・広がり をサポートし、繰り返し深まる学習を大切にしています。	全体
	▶単元末の「ひろがるきもち」コーナーでは、生活科の学習が日常生活に広がり、子どもが自ら自立し生活を豊かにしようとする姿を示しています。	上 p.43, 55, 85など 下 p.9, 25, 37, 53など
	▶子どもの思考を促したり、学習を方向付けたり、気付きの質を高めたりする 教師の支援の例 を掲載しています。	上 p.7, 26, 45, 62, 92など 下 p.19, 24, 48, 63など
具体的な活動や体験の充実	▶見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動や、その活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法で表現する活動を豊富に掲載しています。	全体
学びの見通し・ふり取り	▶導入の「わくわく」では、子どもの「～したい」「～しよう」という思いや願いを高め、 学びの見通し をもてるように構成しています。	全体
	▶単元末の「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果をふり取り、 自らの成長や学びの深まりを実感 できるように工夫しています。	上 p.17, 43, 55など 下 p.9, 25, 37, 53など
資質・能力の育成	▶生活上で必要な知識・技能の育成のために、紙面右上に学習活動に適切な「こんなときどうしよう」などのコーナーを掲載しています。	上 p.7, 27, 39, 57など 下 p.17, 31, 49など
	▶気付いたことをもとに考えるための「 比較する 」、「 分類する 」、「 関連付ける 」、「 工夫する 」、「 試行する 」、「 予測する 」などの多様な学習活動の例を写真・表現物・挿絵・子どもの台詞などで示しています。	全体
生活科の見方・考え方	▶深い学びの鍵となる「 見方・考え方 」の視点を例示することで、子どもが既に有している見方・考え方を発揮できるように工夫しています。	上 p.82-83など 下 p.64-65など
評価への対応	▶主な活動ページでの子どもの台詞やカードから子どもの成長を見とることができます。また、「できるかな できたかな？」コーナーを手がかりとして評価することができます。	全体
幼児教育との接続・スタートカリキュラム	▶「 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 」を踏まえて、子どもが主体的に自己を発揮しながら、 安心して学校生活を始められるスタートカリキュラム を構成しています。	上 「がっこうだいすき あいうえお」
	▶入学当初の緊張感のある子どもたちが遊びを通して関わることで、 子どもたちの人間関係が豊かに広がる ように配慮しています。	上 「がっこうだいすき あいうえお」
	▶幼児期における遊びを通した総合的な学びから、 各教科等における学習に円滑に移行 できるよう、歌や遊びを取り入れた活動や、生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の例示が充実しています。	上 「がっこうだいすき あいうえお」
	▶入学当初だけでなく、その後の単元においても、幼児期での学びや育ちを生かして自己を発揮できるよう配慮しています。	上 p.21, 45など 下 p.14など
保幼小交流活動	▶保幼小交流活動では、幼児にとっては小学校への期待を高め、子どもにとっては自己肯定感を高められる 互恵性のある活動 を設定しています。	上 p.43, 85, 114-117など
3年生以降へのつながり	▶ 社会科の見方・考え方 につながるよう、身近な地域の様子を絵地図に整理する学習活動を設けています。	下 p.30, 36, 76, 82など
	▶ 理科の見方・考え方 につながるよう、空気やゴムを使って遊んだり、楽しみながら観察をしたり、自然のすばらしさや季節感を感じたりする学習活動を設けています。	上 p.50-51, 82-83など 下 p.58-69など
	▶具体的な活動や体験を通じて、気付いたことをもとに考えたり、主体的にまた、協働して多様な学習活動を行ったりすることで、中学年以降の「 総合的な学習の時間 」にスムーズにつながるよう工夫しています。	下 p.16, 24, 90, 114など
	▶下巻の巻末では、生活科の学習をふり返る中で、 未来に向けての夢と志 をもつことができる「 みらいに むかって 」の資料単元を掲載しています。	下「みらいに むかって」
キャリア教育	▶地域の店や公園などを訪問したり、利用したり、そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で、その人たちへの憧れの気持ちをもつと共に、自分の夢や未来について考えることができるように工夫しています。	上 p.38 下 p.32-35, 78-81など

観点	留意点	該当箇所
他教科との関連	▶国語科(話すこと、書くこと、読むこと、物語など)、算数科(かず、時間)、音楽科(歌)、図画工作科(製作、造形)、体育科(ゲーム、ダンス)などの各教科等の学習で育成を目指す資質・能力との関連を工夫し、学習活動の充実を図る工夫をしています。	上 p.54, 64など 下 p.9, 66-67, 92-93など
道徳教育の充実	▶「生命の尊さ」、「家族愛、家庭生活の充実」、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」など、道徳科の学習と生活科の学習の効果が相互に高められるよう道徳科の学習に関連する紙面が充実しています。	上 p.68-69など 下 p.84-85, 108など
	▶あいさつやマナーなど基本的な生活習慣などは、「こんなときどうしよう」などの各種コーナーで学習できるようにしています。	上 p.7, 11, 39など 下 p.31, 35, 39など
言語能力	▶国語科や書写で学習したことを生かした、作文・新聞・招待状・説明書・パンフレット・ポスター等の多様な表現物を記載しています。	上 p.32-33, 93, 97など 下 p.53, 67, 95, 105など
カリキュラム・マネジメント	▶教科横断的な学習活動を豊富に掲載し、カリキュラムを構成しやすいように工夫しています。	全体
	▶9月末～10月初旬に単元の区切りをおき、2学期制でも対応できるように配慮しています。	全体
ユニバーサルデザインに関する配慮・個に応じた指導(インクルーシブ教育、特別支援)	▶本文などの基本的な文字のフォントは、UDフォントを採用し、視認性と可読性を高めています。	全体 
	▶色覚の個人差を問わず、紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用い、メディア・ユニバーサル・デザイン協会(MUD)による認証を申請中です。	
	▶多様な子どもに配慮し、『小単元名』、『カード例』、『めくり言葉』など要素の位置を原則として固定しています。また学習活動の中で読む必要のあるカードは傾けて配置することを避け、読みやすい構成にしています。	
	▶学習者用デジタル教科書や拡大教科書を用意し、子どもたちの様々な学習の仕方に対応できるようにしています。	
人権や福祉	▶写真や挿絵は、性別による偏りがないように配慮しています。	全体
	▶幼児や高齢者、外国人、障がいのある方など、こたわりなく関わることができ、誰もが住みやすいバリアフリーの社会を目指そうとする意識が自然に芽生えるように工夫しています。	下 p.33, 38-41, 120-121など
多様な家庭環境	▶写真や挿絵は、子どもの多様な家庭環境に配慮しています。	全体
	▶家族単元では、子どもの多様な家庭環境に十分に配慮しながら、家族の温かさを実感したり、自分の役割を考えたりできるように工夫しています。	上 p.86-93
	▶成長単元では、子どもの多様な家庭環境に十分に配慮しながら、自分自身の成長をふり返ることができるように工夫しています。	下 p.98-108
国際理解・外国語教育の充実	▶上下巻とも写真や挿絵に外国につながる子どもを設定し、共にいきいきと活動する姿を示しています。	全体
	▶多様な言語で表記されている標識や、あいさつなどを掲載しています。	下 p.126-127など
	▶「むかしからあるあそび」の紙面では、外国のけん玉を記載し、子どもが異なる国の文化に興味関心が高まるように工夫しています。	上 p.97
健康教育・生活習慣	▶歯磨き、手洗い、うがい、早寝早起きなど基本的な生活習慣が身につく、健康に生活ができるようになるためのきっかけづくりとなる内容を記載しています。	上 p.56-57, 95, 129など
ICTの活用	▶子どもの発達段階に配慮しながら、デジタルカメラ、コンピュータ、タブレット端末、電子黒板、インターネットなど、ICTを活用する学習活動を例示しています。	上 p.43, 64など 下 p.21, 25, 37, 52, 92, 95など
	▶ICTが有効な場面では紙面にQRコードを掲載し、ICTを利用することにより、学習の助けになる(動画・補充資料等の)教材を用意しました。なお、QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように巻末に該当ページのURLを記載しました。	全体
社会に開かれた教育課程、家庭や地域との連携	▶家庭との連携が重要な内容に、保護者へのメッセージを設け、家庭との連携が深まるように配慮しています。	上 p.1, 19など
	▶外部人材との連携(地域の人的・物的資源の活用)の例として、子どもたちの生活を支える人々との交流を示しています。	下 p.16, 20, 26-35など
	▶学校での出来事を通して、家庭で伝える活動や地域の活動に積極的に取り組む様子を「ひろがるきもち」コーナーに記載しています。	上 p.17, 55, 65など 下 p.37, 95など
伝統や文化に関する教育の充実	▶「むかしからあるあそび」の紙面では、けん玉やこま、あやとり、おはじきなど昔からある遊びにふれられるようにしています。	上 p.96-97など
	▶下巻「きせつだより」では、季節の行事や歌を例示し、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるように工夫しています。	下 p.10, 56, 70, 96など

観点	留意点	該当箇所
学校安全・防災	▶はさみやカッターナイフなどの器具の使い方や、野外活動での安全配慮が充実しています。	上 p.41, 130など 下 p.47, 124など
	▶防災、防犯、交通安全に関する資料が充実しています。	上 p.1, 18-19など
	▶交通安全に関するページには、保護者の方へのメッセージを掲載し、家庭と学校が連携して子どもの安全を考えられるように工夫しています。	上 p.1, 19など
	▶様々な標識やマークを掲載することで、子どもの安全への意識や、基本的な生活習慣や技能が自然と高まるように工夫しています。	上 p.1, 14-15など 下 p.33, 120-121
衛生	▶飼育、栽培においては、活動の前後に手洗いなどの衛生面への注意を促しています。	上 p.20-33, 58-67など 下 p.12-25, 42-53など
アレルギー	▶飼育においては、学習をはじめる前に、動物や昆虫等のアレルギーについて確認できるように配慮しています。	上 p.58など 下 p.42など
持続可能な開発のための教育 (ESD)・環境教育	▶学校内のビオトープ、落ち葉での堆肥作り、リサイクルなど、環境に目を向けさせ、自然のすばらしさを実感し、これらを大切にできる心が育つようにしています。	上 p.12, 48, 76, 102など 下 p.123など
	▶飼育単元では、外来生物であると同時に、衛生面で課題のあるアメリカザリガニの取り扱いを避けています。	上 p.58-67 下 p.42-55
発達段階への配慮	▶上巻の冒頭では、行、桁目などのない自由記述形式のカードを掲載し、子どもの発達段階に配慮して記載しています。	全体
	▶上巻の冒頭はひらがなのみ、夏休み以降からカタカナと第1学年の配当漢字に全てふりがなを付して使用しています。下巻は、第2学年までの配当漢字に全てふりがなを付して使用しています。複式学級でも共に学びやすい表記です。	全体

2 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
上巻	がっこうだいすき あいうえお	(1),(2),(3)	(小寸)p.1-15	6
	いくぞ！ がっこう たんけんたい	(1),(3),(4),(5),(7),(8)	p.2-19	10
	げんきに そだて わたしの はな	(7),(8)	p.20-33	10
	あそびばに でかけよう	(3),(4),(5),(6),(8)	p.34-43	5
	なつと なかよし	(5),(6),(8)	p.44-57	6
	生きもの 大すき	(1),(7),(8)	p.58-71	7
	あきと なかよし	(4),(5),(6),(8)	p.72-85	15
	ひろがれ えがお	(2),(8),(9)	p.86-97	10
	ふゆと なかよし	(1),(3),(5),(6),(8)	p.98-107	10
もう すぐ 2年生	(8),(9)	p.108-117	13	
標準時数102			配当時数(予備時数)	92(10)

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
下巻	新しい こと いっぱい	(1),(8),(9)	p.2-9	4
	大きく そだて わたしの 野さい	(3),(5),(7),(8)	p.12-25	12
	とび出せ！ 町の たんけんたい	(3),(4),(5),(8)	p.26-41	10
	みんな 生きている	(3),(5),(7),(8)	p.42-55	10
	せかいで ひとつ わたしの おもちゃ	(6),(8)	p.58-69	12
	もっと 知りたい たんけんたい	(3),(4),(5),(8)	p.72-85	14
	町の すてき つたえたい	(3),(4),(5),(8)	p.86-95	12
	これまでの わたし これからの わたし	(1),(2),(3),(8),(9)	p.96-108	21
	みらいに むかって	(9)	(小寸)p.1-7	
標準時数105 配当時数(予備時数)				95(10)

※上巻は主として「学校」を、下巻は主として「地域」を舞台として子どもの発達段階を考慮して構成しています。また、学校や地域及び子どもの実態に応じた弾力的な学習計画が立てられるように(カリキュラム・マネジメント)、標準時数よりも余裕をもたせて時間を配当しています。

※下巻の巻末の「みらいに むかって」は、資料単元として掲載しているため、配当時間は設けていません。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-128	小学校	生活	生活	第1, 2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	生活 113 114	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
〈下巻〉 123	リサイクルしよう	1	生活科第1学年及び第2学年(2), (3), (4)	0.5
〈下巻〉 126-127	せかいと つながろう	2	生活科第1学年及び第2学年(1), (3)	2
合 計				2.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容